滋賀県女性医師ネットワーク会議

滋賀県女性医師 ネットワークだより

2025年（令和７年）３月

vol.14

女性医師交流会
～医師キャリアアップ！ミニ座談会～を開き意見交換を行いました。

滋賀県女性医師ネットワーク会議
会　長　**梅田　朋子**
滋賀医科大学 地域医療教育研究拠点
准教授／独立行政法人　地域医療機能
推進機構滋賀病院 乳腺外科診療部長

新型コロナウイルス感染症に引き続き、インフルエンザ感染症が猛威を振るっていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。私たち「滋賀県女性医師ネットワーク会議」は、2011年に滋賀県の女性医師による医師支援のネットワークとして発足し、現在は滋賀県医師キャリアサポートセンターに属しながら、滋賀県で働く医師が生涯を通じて、キャリアアップをしながらライフイベントを乗り越えて、輝いて働き続けられることを目標に活動しています。さて、2024年度は働き方改革元年ともいえる年ですが、業務整理やインターネットの利用、医師補助員の増員など長時間労働を是正する努力は各病院で着実になされていると思います。一方で、研究や教育、自己研鑽など医師のスキルアップに重要な部分は労働時間にカウントされにくく、時間外労働の縮小による減収についてももう少し配慮が必要であると考えています。今後、さらに改革が進み、より働きやすい環境が実現することを祈っています。

さて、私たちは2012年より「講演会」を開いて意見交換を行って参りましたが、今年は個々の意見交換を充実するという意味で「座談会」という形式を選び、2024年12月８日に「第11回女性医師交流会～医師キャリアアップ！ミニ座談会～」を、滋賀医科大学附属病院第１会議室にてWeb併用で開催しました。ネットワーク会議の委員に加えて、尾澤かほる先生、松川幸弘先生、油木純一先生をお招きして、出産、育児、仕事と家庭の両立、専門科や研修先の選び方、働き方改革の影響などについて深く意見交換を行いました。お集まりいただいたのは医学生２名、研修医４名を含む18歳から60歳以上までの総勢27名の先生方で、大変盛況な会となりました。参加された若い先生には「便利な制度や働き方を知ることができた」、「医師会や医師国保に入会して健康保険料を見直すことができた」といった、すぐに役立つ良い情報を得られたという好評を得ることができました。これからも、時代に合わせた会を継続して開催していければ良いと思っております。

最後に、来年度の活動予定についてですが、我々は2013年度に滋賀医科大学の卒業生に対して、働き方に関するアンケート調査を行い、滋賀医科大学雑誌に結果を掲載いたしましたが、12年経った今、再び滋賀医科大学の卒業生および、滋賀県で働く医師に対して、働き方に関するアンケート調査を行い、働きやすい環境づくりに役立てたいと計画しております。メールやチラシなどでお目に止まりましたら、ぜひご協力をお願いいたします。滋賀県の医師が働きやすい環境を作れるようにこれからも努力いたしますので、今後とも滋賀県女性医師ネットワーク会議をよろしくお願いいたします。

医師のキャリア形成を支援する施策を提言するためのアンケート
―現在の医師の働き方と「働き方改革」の影響について―を実施します！

- 対　　象：医師
- 方　　法：Googleフォーム
- 実施時期：2025年夏ごろ

※詳細は後日お知らせいたします！

第11回

女性医師交流会　開催報告

～医師のキャリアアップ！ ミニ座談会～を開催しました。

2024年12月８日、第11回滋賀県女性医師交流会を開催しました。今回は**「医師のキャリアアップ！ミニ座談会」として開催し、**４つのテーマに沿って座談会形式の意見交換を実施しました。医師としてのキャリアアップと家庭生活について、多様な経験をした現役の医師を講師としてお招きし、座談会の各グループで参加者に交じって意見交換を行いました。参加者はベテラン医師から研修医、医学生まで総勢27名となりました。

▲ミニ座談会開催案内

▲本会議委員と講師

◆開　会

滋賀県女性医師ネットワーク会議・梅田会長のご挨拶から始まり、講師の自己紹介ではそれぞれの経験や経歴を踏まえてお話しされました。

▲開会のあいさつ

▲講師の自己紹介

◆座談会の様子

座談会は以下の４つのテーマをもとに５つのグループに分かれて意見交換を行いました。

①家庭と仕事の両立（介護、育児、家事、働く場所など）
②出産・育児とキャリアアップ（結婚・出産後の働き方、男性の育休など）
③専門科の選択や指導の悩み（研修医として、上級医として、研修先はどうする？）
④働き方改革で変わったこと

事前のアンケートで回答した興味のあるテーマでグループ分けを行い、各グループには講師のほか女性医師ネットワーク会議の委員が司会として座談会に参加しました。

▲座談会の様子①

このグループは講師の油木先生を中心に30～60代の先生が集まり、今まさに進行中の子育てや介護について話が盛り上がりました。その中で、油木先生からは市役所に相談したことで、市の無料支援サービスの存在を知り利用できたという有意義な情報がありました。

また、大学院や転職、時短など状況に応じて勤務形態を工夫しながら、仕事を辞めることなく、育児・介護とも向き合っておられる先生方のお話を聞いて、参加者からは“しんどいのは自分だけじゃないと励みになりました”という感想をいただけました。

委員・大津赤十字病院新生児内科　**松林　優子**

参加者の年代は18歳の医学生から70代の大ベテランまで非常に幅広く、若手の医師・研修医からの疑問にベテラン医師が回答する場面も。設定されたテーマにとどまらず、世代を超えて活発に意見交換が行われました。これから医師になる医学生にとっては、普段交流のない様々な働き方の現役医師たちとの交流ができる貴重な機会にもなりました。

▲座談会の様子②

近隣の病院で勤務する方や開業されている方、産業医として勤務をする方など、参加者のバックグラウンドも様々です。異なる働き方の医師が、どのようにキャリアを積んでいるのか、普段は聞くことのできない視点からの経験談に、感嘆の声が聞かれるなど、終始にぎやかな座談会となりました。

▲座談会の様子③

結婚・子育てのキャリアアップをテーマに様々なお話ができました。医師35年のキャリアの先生からは、ご自身のご経験を踏まえ、現在は様々な改革のもと、出産・育児を行う医師の労働環境が改善してきており、今後も改革されていくであろうことをお話いただきました。また学生さんからは出産・育児とキャリアの両立、男性育児休業の現状などについての質問があり、グループの中のメンバーからさまざまな意見や回答がありました。その中で、出産や育児はすべてが思い通りにいくものではなく、それぞれの状況や立場などに応じて、その時その時でベストな状態は変わるものであること、困ったときには周りにサポート体制があることを知っておくことが重要だという意見がでました。これからキャリアを築いていく学生さんや若い医師にとって、今回のミニ座談会が少しでも参考になればと思います。

委員・滋賀医科大学医師臨床教育センター副センター長　**山原　真子**

初期研修１年目の女性医師３名が現地参加、後期研修２年目の男性医師１名がWeb参加されました。将来選択する診療科を既に決めている医師もいれば、まだ専門科を決めていない医師もいました。子育て中の医師、最近結婚した医師、独身の医師、それぞれでした。講師の尾澤先生は学生時代に出産したので保育所探しに苦労されたそうです（司会の私も大学院時代に２度出産し、保育所入所の際の優先順位は高くありませんでした）。診療科を決めるにあたり、出産のタイミング（悩んでも仕方がないかも？）や、勤務先はどうなるのか不安（遠方に勤務することになり配偶者の勤務先と離れてしまったら？）、大学院進学のタイミング、等悩むとのこと。皆様、今後も滋賀県で働きたいとのことで、滋賀県の医療の発展に貢献してくださると期待しました。

委員・滋賀県立総合病院乳腺外科部長　**辻　和香子**

◆まとめ・発表

座談会後に各グループの司会担当の委員より、グループ内で出た意見の共有がありました。また、幅広い世代が会する貴重な機会を活かし、医学生・研修医の参加者からの質問タイムが設けられ、**キャリアアップと家庭生活との両立、将来の悩みなどの質問に、先輩・大先輩医師から回答がされました。**

Q：子育てと仕事の両立について、サポートを受けた実体験を知りたいです。

A：居住している市の役所に相談したところ、条件が合えば無償で子供を見てくれるサービスを紹介してもらうことができました。何に困っているか伝えることが第一歩！

◆閉　会

滋賀県女性医師ネットワーク会議・西島委員より、閉会の挨拶がありました。最後は集合写真を撮影し、座談会を通して打ち解けた参加者の皆さんの、明るい表情を見ることができました。

▲集合写真

◆実施後のアンケート

座談会後、参加者にアンケートを行いました。いただいたご感想の一部をご紹介します。

- 多くの先生方の育児・介護にまつわるご経験をお伺いすることができ、将来のイメージや良い意味での覚悟ができました。また、どんな状況であれ必ず乗り越えられるんだという希望も、今後は待てるように思います。
- 医師の働き方が様々にあること、それぞれが自身の生活に合せて精一杯活躍されていること、それぞれの生き方を尊敬しあえていること、を感じて、嬉しく楽しい時間でした。
- 今回のようなテーマごとの座談会形式の他、悩んでいることをアドバイスしていただける時間を設けて頂ければと思います。今回、研修医や学生の方が質問された内容をみんなで考えるなどの時間を設けるのはいかがでしょうか。

２０２４年の活動を終えて

西島　節子
彦根市立病院
小児科　主任部長

交流会では、多くのご意見を聞くことができて楽しかったです。時を重ねても悩みの種は尽きることなく、それに対して何らかの行動を起こしていくことしかないですね。それから、交流会開催までの話し合いも有意義でした。

2024年で女性医師交流会も11回を迎えました。年々女性医師の割合が増え、子育て、介護と両立しながら仕事を行う同僚の話も聞こえてきます。いかにして仕事を中断することなく、離職することなく医療とつながることができるか、みんな不安を感じていることと思われます。情報がない中孤立することが最大の問題で、私たちは皆さまの不安を解消するべく、2025年も情報提供を行っていきたいと思います。ぜひ年１度の交流会の参加をお待ちしています。

卜部　優子
淡海医療センター
周産期センター
産婦人科　統括部長

北原　左和子
淡海医療センター
放射線診療センター
放射線科画像診断部
副部長

今年はアンケート作成や座談会を通じて、医師としての働き方の課題や悩みを共有し､共感し合う貴重な機会を得ることができました。参加者同士の連携が深まり、今後の活動に繋がる成果を得られたのではないかと感じています。

今年度は公私ともにいろいろありましたが、なんとか無事１年を終えることができそうです。滋賀県で働く医師がより良い環境で働けるよう、そして更によい医療を提供できるように皆で考えていきましょう。

佐藤　知実
滋賀医科大学
医師臨床教育センター
副センター長

女性医師ネットワーク会議
会員募集中！

滋賀県女性医師ネットワーク会議は、平成24年に発足し、今年で12年目を迎える歴史ある会です。輝きながら働き続ける医師の支援のために、勤務状況の課題調査や県政への提言など、様々な取り組みを行っています。活動の中で、保育所等、子育て施策の充実を実現してきました。本ネットワーク会議では、現在参加いただける会員を募集しています。

- 参加費無料、**男女問わず入会できます。**
- 医系学生も大歓迎です。
- 毎年発行する『女性医師ネットワークだより』をお送りします。
- 毎年本会議が開催する『女性医師交流会』のご案内をお送りします。

▼お申し込みはこちらから！

←入会フォーム
https://forms.gle/HZbbLzuPfPvr46bt5

滋賀県女性医師ネットワーク会議： https://shiga-ishicsc.jp/female-doctor-network-meeting

発　行：滋賀県女性医師ネットワーク会議

会　長	梅田　朋子	滋賀医科大学 地域医療教育研究拠点／独立行政法人 地域医療機能推進機構滋賀病院			
副会長	卜部　優子	社会医療法人誠光会 淡海医療センター	西島　節子	彦根市立病院	
委　員	北原　左和子	社会医療法人誠光会 淡海医療センター	佐藤　知実	滋賀医科大学 医師臨床教育センター	
	辻　和香子	滋賀県立総合病院	松林　優子	大津赤十字病院	
	山原　真子	滋賀医科大学 医師臨床教育センター	（以上、五十音順）		

お問い合わせ先：滋賀県大津市瀬田月輪町　滋賀医科大学 クオリティマネジメント課内
（事務局）　滋賀県医師キャリアサポートセンター　TEL 077-548-2826　FAX 077-548-2832
E-Mail：ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp　HP：https://shiga-ishicsc.jp